

令和7年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

令和8年3月31日
学校法人 かしのみ学園
調布多摩川幼稚園

1. 本園の教育目標

自分が好き・あなたが好きと思える子どもに
自分のやりたいことをとことんやれる子どもに
試行錯誤を楽しめる子どもに
人と一緒に何かをすることが楽しいと感じられる子どもに
一人ひとりの違いを認められる子どもに
夢や憧れを持って生きていける子どもに

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

「あそび」を子どもたちの可能性を伸ばすものと捉え、子どもの自主性、社会性、創造性を育てることを目標とし、一人ひとりの個性を理解することに心掛ける。
教職員全体で子ども理解を深める取り組みとして、情報共有できる機会を積極的に設けるように努める。
各教育機関との連携、研修会等に積極的に参加し、教育の質の更なる向上に努める。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
「あそび」を中心とした保育の計画、実践、および振り返りを適切に行い、子どもの成長に相応しい保育を実践する。	A	子どもの成長に合わせ適切な日々の保育の計画を立案し、実践している。また、定期的な会議を実施し、実践の情報交換を行うことで、より良い保育の実践に繋がるよう努めている。
教育の質の向上のために、研修を充実させる。	A	学期毎に保育の実践や課題について話合いの研修を実施、また保育経験に適した研修会に積極的に参加し、質の向上に努めている。
保護者が学べる機会の場を提供する。	A	保護者との懇談会を定期的実施するとともに、各行事後に感想の提出を実施。教育関係者を講師に招いた講演会を実施している。

(評価の表示について)

- A ...十分達成されている B ...達成されている
C ...取り組まれているが成果が十分でない D ...取り組みが不十分である

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全教職員が取り組むべき課題に対し、自身の役割を理解して園の運営に積極的に関わることができた。
それぞれ自己評価し、取組み状況を定期的に話し合うことを通して、本園としての教育方針を明確にし実践することができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組み方法
子どもの探求に対する保育者の関わり方を深める	子どものつぶやきや興味・関心を、保育者がどのように受け止めて広げていくかを研修等を受けながら学ぶようにする。
食を通じて様々な事象に興味、関心をもてるようにしていく	保育者の知識の幅をひろげていくようにする。
2歳児保育活動の充実	2歳児保育を令和8年度から実施する。実践した教育を丁寧に振り返り、育ちに相応しい保育内容の充実を目指していきたい。

6. 学校関係者の評価

保育の取り組みについて実践した記録を拝見し、積極的に研修会に参加し様々な世界を知る機会に触れていることが、日々の保育に活かされていると感じた。保育者としてのやりがいを感じ、自身を見つめる良い機会となるのでこれからも積極的に取り組んで欲しい。
実践した保育を、少し時間をおき観察する機会を職員で作り、客観的に捉えることで、意味のある「気づき」を感じていることと思うので、これからも小さな気づきであっても積み重ねの実践を大切にしたい。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。